

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	地域包括支援センター運営事業	所管	保健福祉部 高齢者支援課
			TEL 2998-9120

事業の目的 (何の為に 行うか)	地域包括支援センターは改正介護保険法に定める包括的支援事業、介護予防事業、その他の事業を実施し、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市内在住の65歳以上の高齢者(各年度末の高齢者人口)	対象とした数	58,432	人
		実際に 利用した数	11,927	人

活動の内容	(何を したか)	①総合相談支援・権利擁護事業(家庭訪問による実態把握、総合相談支援、虐待防止と権利擁護等) ②地域ケアネットワーク事業(地域ケア会議の主催、地域の社会資源の発掘とネットワークづくり等) ③包括的継続的ケアマネジメント事業(高齢者への包括的継続的支援のための関係機関との連携、ケアマネジャー支援) ④介護予防ケアマネジメント事業(特定高齢者に対する介護予防プランの作成)							
		活動実績	項目名	①被支援者延べ人数	11927	項目名	②高齢者人口	58432	項目名
				----- 単位 人			----- 単位 人		----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	180,000	169,651	174,527	516.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	利用率	①被支援者延べ人数/②高齢者人口× 100	25	20.4	81.6
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	現状どおり	* 増額	減額	終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了						
	総合 評価	* 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []					終了
		予算	現状どおり	* 増額	減額	終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040400	TEL	2998-9120
事業コード	地域包括支援センター運営事業					
040407						
開始年度		平成 18 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			介護保険法、所沢市地域包括支援センター実施要綱				
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	3節 高齢者福祉	中柱	1いきいきと暮らすための支援・サービスの充実	小柱	(2)在宅介護支援対策の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 1 位		・実施計画における位置づけ…		H19	A	H20

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)		地域包括支援センターは改正介護保険法に定める包括的支援事業、介護予防事業、その他の事業を実施し、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)		市内在住の65歳以上の高齢者(各年度末の高齢者人口)									
	利用数の考え方		地域包括支援センターが年度内に支援した者の延べ人数									
	対象数	単位	平成 18 年度	58,432	平成 19 年度	61,865	利用数	単位	平成 18 年度	11,927	平成 19 年度	18,085
	事業の具体的な内容及び実施方法											

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())		
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
平成19年度中に改善した点				
地域包括支援センターを1箇所増設して13箇所とした。				

⑤経費	《会計種別》	特別会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		180,000	223,080	240,240
	決算(見込み含む)		169,651	222,690	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	0.53 人	4,876 人	0	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		174,527	222,690	
	財源内訳	一般財源	174,527	222,690	45,646
		国・県支出金			130,614
		受益者負担金			63,980
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	516.5	656.8		
	利用数一単位あたり(単位:円)	14,632.9	12,313.5		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	①被支援者延べ人数	地域包括支援センターが年度内に支援した者の延べ人数	人	11,927	18,085	19,000	
		②高齢者人口	市内の65才以上人口	人	58,432	61,865	65,000	
	成果分析	利用率	①被支援者延べ人数/②高齢者人口 × 100		目標値 25	30	30	
					実績 20.4	29.2		実績値の拡大を図る1
			%	達成率 81.6	97.3		実績値の縮小を図る2 1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	見直しの必要性
	明らかとなった課題	高齢化の進展により①要介護高齢者及び要介護高齢者の増加②保健福祉医療に係る相談やサービス利用調整の需要の増加③元気で地域に住み続けるための介護予防の普及が必要となり、当該事業の必要性が増していくことが予想される。	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成21年度における目標設定	今期目標項目(何を)	全ての地域包括支援センターが保健・福祉・介護・医療にかかわる情報を十分理解し高齢者に対し適切な支援を実施する。	平成20年度中
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	当該事業は地域支援事業交付金を財源として保険給付費に対する割合(18年度2.0%、19年度2.3%、20年度3.0%)をもとに事業費の算定を行っているため他の地域支援事業との調整を行いつつ増大する需要に対応するため事業の拡充を図るものである。			
評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	高齢者支援課長 鏡 諭	

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性				
	事前評価	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了			
		予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
		部内優先順位… 1 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
		優先度評価	<input checked="" type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業			
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	各地域での中心的役割を担っているが、まだ地域住民の認知度が低い。サービスを受ける側が年々増加することなどから、周知の徹底が必要である。今後は地域の実情に合った事業と老人以外の対象も視野に入れ取り組みたい。				
	評価日	9月1日				

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎個別計画			
	◎世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
施策の方向				